



# 共生舎 教室だより

2021年7月26日号  
発行人 高橋 慎吾

北海道  
スタイル



当教室も実践しております。宜しく  
お願い致します。

## 1学期はほぼ評定アップ！

室蘭市内の小中学校でも、  
先般1学期の終業式を迎え、  
評定を確認させて頂きました。

今年度は、中学生の学習指導  
要領で「主体的・対話的で深い  
学び」が導入されており、評価  
基準が、大まかに「知識・理解」「表現」「主体性」の3点が  
重視されることになりました。

新課程では、日頃の授業での取り組み姿勢が評定に反映され  
やすくなり、定期試験の点数だけでは評定を決めにくくなって  
います。テストの点数だけ取ればよい、ということではなくなっ  
ているのです。

テストも従来通り大切です。しかし、そのテスト自体も、た  
だの暗記、一夜漬けの付け焼き刃だけでは通用しません。上記  
3点を意識した学習が、これからますます必要になってくるの  
です。特に受験生こそ、ここを焦らず取り組む必要があります！

1学期を終え、当教室の塾生さんは、全体的に試験の成績も  
評定も上昇傾向です。5年前の創業時からずっと変わらず、新要  
領を見据えた教室づくりを掲げておりますが、その成果が一定  
程度現れています。今後も、目の前の得点に焦るのではなく、見  
通しをもった学びに繋がれるよう取り組んで参ります。



## 新課程の学びもサポート！

いわゆる通常の「学習塾」  
として、日頃の学習の補助も  
行っておりますが、当教室の  
最大の強みは、個別・集団の  
垣根も、学校・学年の垣根も  
越え、ともに考え学びを深め  
る、新課程に対応した体制づくりにあります。



**募集要綱** ※詳細はホームページも併せてご覧ください。

【学生の部】小・中学生 各5名程度、高校生 若干名

回数、時間帯は極力ご都合に合わせられるように致します。

※水曜日も通常通りの募集に切り替えます！

【一般教養】若干名 学びを手伝って欲しいものなら何でも！  
特に英語は、当教室独自の手法で、初心者～中級者を中心に、  
長く使える知識・教養をお伝えでき、好評を頂いています。

## お好み夏季集中プラン

夏休みの期間を利用し、1時間2,000円（小学生1,500円）  
で、通常授業以外の時間で個別（または少人数）に、弱点への  
対応から好奇心の赴くままの深掘りまで対応いたします！

出前や、リモートでの対応も承ります。

どうぞお気軽にご相談くださいませ！

## ★中3英数オープン模試

例年、12～1月頃から英数の  
入試プレテストを行ってしま  
したが、新要領下での入試や学  
力テストへの慣れを意識し、今  
年度は早いうちから教室オリジ  
ナル模試を行うことにしました。



## 【開催要領】

- ・日時 令和3年8月5日（木） ※16:55まで入場願います  
17:00～17:50 数学 18:00～18:50 英語  
19:00～20:00 解説（途中休憩あり）
- ・出題範囲 第3回学力テストとほぼ同一です。
- ・料金 塾生は今回、完全無料です。その他学生さんは、  
テスト問題1教科につき500円、解説は1,500円です。
- ・前日までにお申込み願います。

## ★教室恒例！花火大会

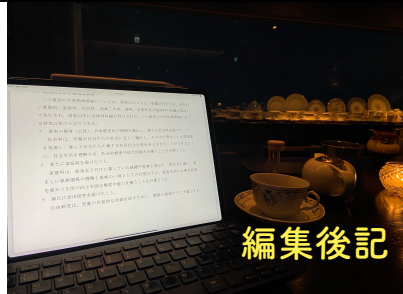
今年も教室恒例の花火大会を実施します！

業績もあり、昨年ほど用意できない可能性があります、  
楽しんで頂ければと思います。

- ・令和3年8月6日（金）19:00～19:45
- ・雨天順延
- ・授業は19時までとさせていただきます。ご了承下さい。

## 大人は見本を示せるか！？

かねてから、教育関係者での  
討論会に参加させて頂いてお  
りますが、新課程の取り進めに加  
えて、コロナ禍もあり、教育に  
求められるものが、加速度的に  
増加しているとわかりました。



教育に携わる者としては、学生自身が学んだことを今後活用で  
きるようにするには、どこにどういった課題があり、どう解決  
していくのか（あるいは介入しないべきなのか）を常々確かめる  
ことが大切と考えています。

思うように成績が伸びない場合、まずこの教室では思考の整理  
に時間を割きます。そして実際の問題演習に取り組むところを見  
守りながら指導し、自信につなげるようにしています。

ところが、この「思考の整理と表明」を周囲の人が面倒臭がっ  
てしまうと、子どもも面倒臭がってしまいます。

なぜ「思考の整理と表明」が大切なのか、なぜそれを下支えす  
る学びが必要なのか、そして周りの人はそれをどう支えてあげら  
れるのか。

こうしたことをしっかりと対話することなく、ただ言うことを  
聞かせ、勉強させることばかりに意識が向いてしまうと、背景や  
前提知識を理解しないまま太字を突っ込むだけになり、新課程で  
期待される「生きる力」の学びも遠ざかり、挙句の果てに評定ダ  
ウンの憂き目にも遭ってしまうのです。我々大人も、子どもたち  
と共にこのあたりを学んでいけたらよいのでは、と考えます。

目先のテストだけではなく、長い目線で学びの土台を。一緒に学ぶ仲間を募集しています！